

令和2年度事業報告書

一般社団法人 日本消防放水器具工業会

第1 総 則 会員の動向

区 分	年度当初の会員数	退 会	入 会	令和3年3月末現在数
正 会 員	19	0	0	19
賛 助 会 員	10	0	0	10
計	29	0	0	29

第2 総会及び理事会

1 定時総会

第27回定時総会が、令和2年5月21日、千代田区内幸町「TKP 新橋カンファレンスセンター」において開催され、次の議案が審議され承認された。

- 第1号議案 令和元年度事業報告書（案）の件
- 第2号議案 令和元年度収支決算書（案）の件
- 第3号議案 令和2年度事業計画書（案）の件
- 第4号議案 令和2年度収支予算書（案）の件
- 第5号議案 理事及び監事選任（案）の件

2 臨時総会

第25回臨時総会は、岐阜県長良川温泉にて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止となった。

3 理事会

(1) 第1回理事会が、令和2年5月14日、書面表決により開催され、次の事項が協議され承認された。

- 協議事項1 令和元年度事業報告(案)及び令和元年度収支決算書（案）の件
- 協議事項2 次期役員候補者（案）の件
- 協議事項3 長官表彰候補者推薦(案)の件
- 協議事項4 黄綬褒章受章におけるお祝い金拠出の件
- 協議事項5 理事会におけるネットワーク参加の件

(2) 第2回理事会が、令和2年5月21日、千代田区内幸町「TKP 新橋カンファレンスセンター」において開催され、次の議案が審議され承認された。

- 協議事項1 会長、副会長及び常任理事の選定（案）の件

(3) 第3回理事会が、令和2年7月14日、東京都港区「新橋田中・田村ビル会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

審議に先立ち村上会長より、令和2年度の理事会議長を開催の都度横井副会長にお願いする旨の提案があり、異議なく承認された。

協議事項 1 認定業務終了に関する件

協議事項 2 委員会委員等委嘱に関する件

協議事項 3 YONE(株)からの大口径結合金具申告漏れに関する件

その他（報告事項等）

- ① 工業会会長表彰の受賞負担金免除の件
- ② 臨時総会(9月11日開催予定)の開催中止の件
- ③ 会員名簿の件
- ④ 全国消防機器協会からの情報提供の件
- ⑤ 令和3年度の定時総会の開催日の件

(4) 第4回理事会が令和2年11月9日、東京都港区「新橋田中・田村ビル会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 認定業務終了に関する件

協議事項 2 令和9年（平成39年）問題および保形ホース劣化調査に関する件

その他（報告事項等）

- ① 新年名刺交換会・互例会中止の件
- ② 令和3年度放水器具工業会総会(5/25)開催の件
- ③ 黄綬褒章受章のお祝い金の件

(5) 第5回理事会が令和2年12月24日、東京都港区「新橋田中・田村ビル会議室」において開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 令和元年度上半期収支報告書(案)の件

協議事項 2 送水口・採水口の認定業務終了の件

協議事項 3 送水口・採水口特別会費修正の件

協議事項 4 理事改選および会長交代等の件

協議事項 5 保形ホース劣化調査（案）の件

協議事項 6 令和3年度、安全センター助成研究等の申請の件

協議事項 7 支払い承認の件

その他（報告事項等）

- ① 令和3年度、消防機器協会会長表彰の候補者推薦の件
- ② 令和3年度、全国消防機器協会行事予定の件

(6) 第6回理事会が令和3年2月18日、Zoom会議によって開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 令和3年度予算(案)の件

協議事項 2 令和3年度全国消防機器協会会長表彰者推薦の件

その他（報告事項等）

- ① 送水口・採水口の特別会費の件
- ② ホース工業会との合同委員会の件
- ③ 送水口口金脱落事故の件
- ④ 消火栓放水バルブ破損事故の件
- ⑤ 賠償責任保険の更新の件
- ⑥ 特許 6820592 号の件
- ⑦ 工業会定例表彰候補者の推薦の件
- ⑧ 役員改選の件
- ⑨ 一般公開（三鷹）の件
- ⑩ 令和3年度、総会および臨時総会の件
- ⑪ 全国消防機器協会機器協会からの行事予定表の件

- (7) 第7回理事会が令和3年3月22日、Zoom会議によって開催され、次の事項が協議され承認された。

協議事項 1 定時総会等の開催の件

総会は昨年同様、会議室を借り、表彰式および懇親会は中止することで審議し、出席理事全員の賛成により承認された。

協議事項 2 令和3年度予算(案)の件

協議事項 3 令和3年度事業計画(案)の件

協議事項 4 令和3年度工業会会長表彰推薦候補者(案)の件

協議事項 5 定款改定(案)の件

協議事項 6 会費規則改定(案)の件

その他(報告事項等)

①全国消防機器協会からの情報提供の件

第3 事業・業務概要

1 認定及び審査関連業務

- (1) 送水口の型式、個別等の認定申請書の授受、立会い検査、認定委員会開催、認定証票の交付等の業務を行った。
- (2) 採水口の型式、個別等の自主認定申請書の授受、立会い検査、認定委員会開催、適合証票の交付等の業務を行った。
- (3) 令和2年度の認定型式及び個別認定等の実施状況は、次のとおりであった。

実施状況表(令和2年4月～令和2年12月)

区分	認定の区別	登録認定 (送水口)	自主認定 (採水口)
型式認定	(件数)	1	0
型式変更認定	(件数)	0	0
個別認定	(個数)	6, 446	1, 068
軽変更	(件数)	0	0

※なお、送水口・採水口の認定業務は令和2年12月にて終了し、令和3年より一般財団法人日本消防設備安全センターにおいて開始されました。

2 品質評価等の関連業務

- (1) 遠隔地会員の総務大臣に対する消防用結合金具の自主表示届出申請及び受領、送付等の業務を行った。本業務については、令和2年度の届出手続きは4件であった。なお、令和2年12月より書類の押印省略となり、メール添付による提出が可能となった。
- (2) 日本消防検定協会が行う消火栓の認定業務、品質評価に係る諸問題についても、検定協会業務企画室及び消火・消防設備課と随時協議を行った。また、消防機器等に関する研修会も東京と大阪で開催され、積極的に会員の参加を図った。

3 管理関連業務

易操作性1号消火栓のひとり操作表示シール「緑」の申込み受付、発送等の業務を行った。

4 会員との意見交換、情報提供等

(1) 情報提供

消防庁が発行する「消防白書」、「通知」、「案内」及び日本消防検定協会が発行する「検定協会だより」、「検定時報」、「通知」、「案内」並びに(一財)日本消防設備安全センターの発行する「月刊フェスク」、「通知」、「案内」等関係機関、関係団体、関係工業会の資料、情報等を会員に配布した。

(2) 功労者の表彰

- ① 令和2年度春黄綬褒章を、加藤修氏（(株)立売堀製作所）が受章した。
- ② 令和2年度消防関係業界功労者表彰（消防庁長官表彰）は、寒川伸也氏（(株)北浦製作所）及び有川昌幸氏（YONE(株)）の2氏が受賞した。
- ③ 令和2年度消防機器等関係者表彰（(一社)全国消防機器協会会長表彰）は、森田勉氏（(株)立売堀製作所）、宗片光春氏（(株)建設工業社）、北原清史氏（(株)山田製作所）及び山本高裕氏（YONE(株)）の4氏が受賞した。
- ④ 令和2年度(一社)日本消防放水器具工業会会長表彰は、佐野仁氏、中嶋譲氏（以上、(株)立売堀製作所）、上村圭（(株)北浦製作所）、鈴木康輔氏（(株)建設工業社）、本間嵩司（帝国繊維(株)）、田村祥平氏、松崎拓也氏（以上、東京サイレン(株)）、浅野陽輔氏（ヤマトプロテック(株)）、伊藤まゆみ氏、片山俊介氏（以上、(株)横井製作所）及び蔵所幸弘氏（YONE(株)）の11名が受賞した。

(3) 親睦、講演会等

定時総会、臨時総会、研修会等において会員相互の意見、情報交換を行い、親睦を深める予定であったが、新型コロナウイルス拡大防止の観点から縮小開催、あるいは中止となった。

第4 関係機関、関係団体との連絡、協力

1 消防庁及び東京消防庁等との連絡、協力

- (1) 消防庁、東京消防庁及び国土交通省が主催する会議へ出席するところ、令和2年度は中止となった。
- (2) 消防庁の実施した春秋2回の全国火災予防運動では、その実施に先立ち予防運動の高揚を図った。
- (3) 消防庁に届出する「自主表示対象機械器具等表示一覧表」を届出された会員へ個別に発送した。

2 日本消防検定協会との連絡、協力

- (1) 日本消防検定協会が主催する消防機器業務懇談会（令和2年4月、明治記念館）は中止となった。
- (2) 日本消防検定協会からの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。

3 一般財団法人日本消防設備安全センターとの連絡、協力

- (1) 消火栓等開閉弁の認定業務に対する連絡、情報交換及び消防製品 PLセンター業務の推進に協力した。
- (2) 日本消防設備安全センターからの通知、連絡事項及び資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。
- (3) 消防設備の経年劣化に対応した点検方法等検討会に参画し、情報の提供を行った。

4 一般社団法人 全国消防機器協会との連絡、協力

- (1) (一社)全国消防機器協会からの通知、連絡事項および資料等は、その都度関係会員に伝達し協力を図った。
- (2) 褒章、消防関係業界功労者表彰（消防庁長官表彰）、消防機器等関係者表彰（(一社)全国消防機器協会会長表彰）の上申等に当たり綿密に連携し各々の表彰受章に寄与した。
- (3) (一社)全国消防機器協会に設置されている社会貢献委員会及び消防機器等製品情報センターの運営会議に出席し消防設備に関する研修会への情報提供を行った。

5 関係工業会との連絡、協力

- (1) (一社)全国消防機器協会主催の事務局長会議等において各工業会との情報交換を行った。

- (2) 自主表示届出番号制度、屋内消火栓用の交換ホースについて（一社）日本消防ホース工業会、（一社）日本消火装置工業会と随時協議し情報交換を行った。

第5 調査研究

1 アスピレートノズル付広範囲型2号消火栓の啓蒙活動

消火能力が優れているとされるアスピレートノズルを、広範囲型2号消火栓の標準ノズルと位置づけし普及すべく啓蒙活動を実施した。

- (1) 放水時の使いやすさや放水反力の少なさを体験いただくために、科学技術週間における試験施設の一般公開において、広範囲型2号消火栓の展示、及び放水体験、並びにスタンドパイプ展示を実施する予定であったが、中止となった。

2 保形ホースの経年劣化における調査

日本消防ホース工業会と合同で、保形ホースの点検基準改正への手順、交換を促す啓蒙活動の内容、及びその方法等を協議した。

(1) 保形ホースの点検基準改正への促進

改正の根拠となる保形ホースの劣化調査を行うために、防火対象物に20年以上設置された簡易型消火栓から保形ホースのサンプリングを行い、当該ホースの耐圧試験、物性試験等の性状に関する劣化状況の取り纏めを行った。

3 新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発

技術委員会の下に消火栓機能向上研究委員会を組織し、一般財団法人日本消防設備安全センターの助成金を受け、新たに機能を向上させた屋外消火栓の研究・開発を行う予定でしたが、このコロナ禍で研究開発を令和3年度に延期した。